



↑会館の前で集合写真。門徒を代表して世話人の皆さまと工事関係者の方にお参りいただきました。

ついにこの日が！
昨年の五月から始まりました
庫裏(くり)・門徒会館建設
工事。九月十四日晴天の日に
その完成を喜び、関係者の方
に感謝する落成式を執り行い
ました。関係各位、未熟な住
職を支えてくださいました全
ての皆さま。本当にありがと
うございました。

祝 常高寺門徒会館 落成式

常高寺だより

あまね



発行年月日
2022年9月21日
発行所 常高寺
今港市風平町4-1-13
TEL 0898-22-2264



←門徒集会所でお勤め



↑集会所のご本尊



施設の利用は**十月から開始**とさせて
いただきます。
建設いただいた建物を十全に活か
せるように、住職として精進して
いきたいと思えます。今後とも、
よろしく願っています。
※次頁から、会館施設の紹介をし
ます。

常高寺
ホームページ



常高寺の全ての情
報がここに！
「**今治 常高寺**」で
ご検索ください。



漫画 **ブツダから親鸞へ**
継職法要の際、編纂しお配りした、前任
職 加藤泰憲の仏教漫画集。電子書籍に
て好評発売中です。

加藤泰憲作品集
第二弾漫画集『**蘭提**』
(せんたい)もぜひ！
詳細はホームページにて。

常高寺キャラクター紹介



さくぞう君
趣味はご法話を聞く
(たまに寝る)の好き
ことこの袈裟掛け靴
愛散歩すき
牛乳好き



さくひと君
趣味は仏教語付きの
衣服の収集
自称「さくぞう君の
友達」。しかして
その実は・・・？
詳しくはウエブで

目次
2頁 会館紹介①
3頁 会館紹介②
4頁 仏教学基本講座①
5頁 仏教学基本講座②
6頁 質問コーナー
7頁 行事報告
8頁 おしらせ

今月の掲示板のことば

「自らと向き合うことが仏道の出発点」



会館紹介



道路から見た外観です。山門横には、塀と8台分の駐車場が付き、見晴らしがとても良くなりました。



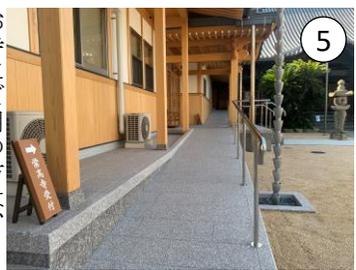
山門をくぐると、



正面に「本堂」、左手に「門徒会館」が見えます。本堂の階段を上がるのは大変という方は、門徒会館横にあるスロープをご利用ください。



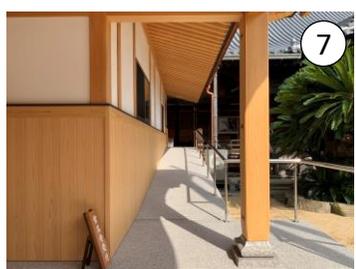
なおスロープの始点にあるドアは、寺族用の「裏玄関」です。



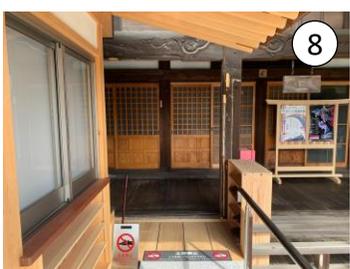
お寺にご用の方は、「常高寺」の看板に従いスロープを上がり、



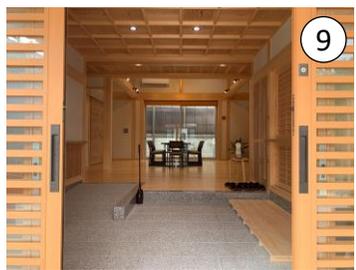
唐破風(からはふう)屋根のある「本玄関」よりお訪ねください。インターホンをご利用ください。



なお、そのまま更にスロープを上がると、



本堂の縁廊下の高さまで上れます。土足禁止ですのでご注意ください。※本堂入口にも20cm程の段差があります。必要の際は仮設スロープを設置出来ます。



「本玄関」より入ると、



左手に受付があります。こちらにもスロープで館内へ上がれます。貸し出し用の車椅子もありますので、ご利用の方はお申し付けください。

「**厨房**」です。時節柄の検討中ですが、法座の際のお斎や料理教室等に使う予定です。



12

正面に「**応接ロビー**」があります。左手奥の引き戸は「**厨房**」右手奥の引き戸は「**門徒集会所**」につながります。



11

本玄関入ってすぐ右手の廊下。男性トイレ、女性トイレ、物置、本堂へ上がる階段、多目的トイレという並び。奥に**エレベーター**があります。



14

「**門徒集会所**」。本堂につき、第二の法事場所となります。



13

お足の悪い方もお子さん連れの方も、ぜひご利用ください。



↓多目的トイレ

↑本堂廊下トイレ



↓女性トイレ

↑男性トイレ

15

「本堂」のボタンを押すと本堂廊下まで上がれます。逆に本堂から会館まで下がりたい時は「**門徒会館**」のボタンを押してください



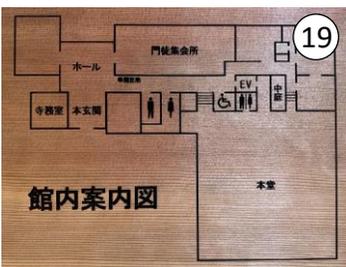
17

本堂までの段差が厳しい方は、**エレベーター**をご利用ください。



16

館内案内図。皆さまのおかげで立派な会館が建ちました。ぜひご利用ください。



19

館内案内図

奥に和室もあります。普段は開放していませんが、行事の際のご講師や、客僧の控え室、また茶室としても利用出来ます。



18

仏教学
講座

住職さんに聞くゾウ! (第五話)

「法ってなんだゾウ? (後編)」

※前後の話は、ホームページでも確認出来ます。

●前話のあらすじ

・「法」は全ての時空に通ずる「ことわり」。その中心的なもの(縁起)。「無常(むじょう)」「無我(むが)」。
 ・全てのは様々な因縁・影響のもと成り立ち(縁起)、そのため常に変化するのだから(無常)、永遠に変わらない実体は無い(無我)。
 ・その「法」に目覚めることと、「苦」を離れることとの関係性とは↑今回はここ!



「きくぞう君、前に『煩惱(ぼんのう)』の話をした事おぼえてる?? (※第三話参照)」



「もちろんだゾウ! 『我執(がしゅう)』や『我所執(がしよしゅう)』。苦しみの原因の話だね。」



「そうそう。人は『われ・わがもの』いう『煩惱』により、『若いままでいたい』『健康でいたい』『死にたくない』『私のものを失いたくない』と何らかの永遠性を期待するんだけど、それが決して叶わないから苦しむと説かれるんだ。」



「んー、『法』のはなしを聞いた後だと、なんだか不思議な気もするよね。無常(すべては移り変わる)で無我(永遠不滅の我はない)のものに、執着するなんて。」



「うん、その気付きが仏教の基本だと思うんだ。『法』はどんな時代、場所においても、変わらない『ことわり』として存在している。問題はそれを見失う私たち人間にあると。そういう立場を仏教は取るんだね。」

人物紹介



常高寺の新住職 渡辺好き、少年誌のやめ時がからない。



きくぞう君、常高寺の公式キャラクター。乗富の芋トちゃんにライバル心を燃やす。



「縁起・無常・無我であるはずのものに対して、『われ・わがもの』と永遠性・絶対性を期待して生きる。他者と自分を区別する。それをしなれば苦しみは起きないんだけど、もう、そういう自己意識を持たずにはおれない性(さが)が人にはある。そういつた『法』の『ことわり』に暗い人の性(さが)、根源的な愚かさを『無明(むみやう)』と言うんだけどね。人は『無明』のため執着し、結果人間の生活は苦しみとなるんだと。だから仏教はこう説くんだ。」

「法」を見失うことで人は苦しむのだから、『法』を見出すことによって、『法』に帰ることによって、『無明』という根源的な無知を打ち消し、苦しみから離れなさいと。」



「『縁起』『無常』『無我』の『ことわり』を見出すことで、『われ・わがもの』という執着から離れるってことかな? そんなこと出来るの??」



「もちろん、頭の中で考えるだけで出来るとは説かれていないね。『戒・定・慧(かい・じょう・え)』の三学と行ってね。『戒』『定』という修行によって、『ことわり』を見出す(智)慧が得られる。そう基本的には説かれるんだ。」



「でー! やっぱりお坊さんといったら修行だゾウ! 住職さんもしてるの?? 滝に打たれたりとか!!」



「そういうイメージがあるんだね(笑) まあ、今回は『法』がテーマだから、『行』に関してはまた今度しよう。浄土真宗にとっても重要なテーマだし、そこと関連してお話するね。」



「気になる。。絶対だゾウ!!」



「うん分かったよ。それで話の続きだけど、行によって『法』を見出す『智慧』が得られるとね、『ものごとをありのままに知り見る』事が出来るようになることとされるんだ。」

「ありのままに知り見る?」



「『如実知見(によじつちけん)』と言うんだけどね。人には『われ、わがもの』という煩惱があつて、自分なりの世界を見ている。ありのままの世界を見ておらず、それは迷いの世界だというのが、仏教の立場だね。よく言われるのは色眼鏡のたとえかな。つまり『自分の都合』というフィルター付きの色眼鏡をかけて世の中を見ているようなもので、赤い眼鏡をかければ赤くなるし、青い眼鏡をかければ、青くなる。ものごとを歪めて認識しているんだね。しかも自分がその色の眼鏡をかけていることに気付いていない。だからそのことに気付く智慧を得て、我執・我所執という色眼鏡が外れば、ありのままの世界を見ることとなり、結果迷いの世界から抜け出る。『如実知見』はそういう境地だとされているんだ。」

「縁起している世間のありようを、そのまま、ありのままで見ることが出来るようになれば、それらへの執着が消えるってことだね!」



「そうだね。そもそも執着する理由が無くなるんだろうね。縁起して無常で無我なのだから。以前お話ししたことだけど、仏教はこの世の一切は苦しみの連続と説くんだ(第二話参照)。その原因は煩惱(執着)にあつて、今回その執着が消えるという話をしたわけだけど、そして今度『苦』が無くなって『楽』に向かうのかと言え、そうではないんだ。」



「うん、覚えているゾウ! 仮に天界のような『楽』に満ちた環境でも、それを失いたくないという執着が生まれて、結局苦しみが生れるんだよね(第三話参照)。」

「そう。苦しみの種はどこにでもあるということだね。だから、仏教の目指す『仏』とは、『苦』と『楽』への執着を超えた境地、『苦』と『楽』の二辺に偏らない境地とされるんだ。この立場を『中(ちゆう)』と呼んだりするね。お釈迦さまは自らの死を目前とした最後の旅の中で、『世界は楽しい』と説かれたとあるんだけどね。」

「この『中』という立場に立つて色眼鏡を外し、ものごとの本質をありのままに見れば、世界はその様に映るのかもしれないね。」



「執着することのないありのままの世界って、どんな風に見えるんだろう? ボクも見てみたいゾウ!」



「そうだね。仏教は『私』が仏に成る教え。そうやって自分の事として、仏教が何を目指す教えなのか問うことは、とても大切なことだと思うよ。今回はここまで。次回のテーマは『空(くう)』。『縁起』『無常』『無我』の教えをより明瞭にしようとした、この思想を一緒に考えてみよう。」

次回 第六話「空ってなんだゾウ? (前編)」に続く

徒稿
門投

常高寺のひと



常高寺仏教婦人会役員、黒川ヒサ子さんから贈り物。余り布を使つて作った綺麗な花束。一つ一つが丁寧に作られました。ありがとうございました。

寺
お
Q&A

よくある質問コーナー

※このコーナーでは常高寺によく問い合わせのある質問にお答えしています。

質問①

「四十九日は三月にわたってもよいのですか?」

答え

同じ様な質問に「法事の日は命日より遅れてもよいのですか?」もあります。「わたつても大丈夫です(遅れても大丈夫です)」とお答えしています。

四十九日が三月(みつき)にわたつてはいけないというのは、「始終、苦が身につく」という語呂合わせからきています。あまり気にされる必要はないかと。

仏教は生きている者に向けて、ひとりひとりの「わたし」に向けて説かれた教えだと思えます。そして浄土真宗においても、ご法事は「わたし」が仏さまの教えに触れさせていただく大切なご法縁であるという意味です。命日をご縁とする以上、それに近いにこした事はありませんが、まず遺族の皆さんが集まりやすいというのを第一に考えられて、日程はお決めになられたらよいかと思えます。

質問②

「ご法事をするのに日の善し悪しはあるのですか?」

答え

「ありません」とお答えしています。ご法事の予約の際に、仏滅(ぶつめつ)や友引(ともびき)の日以外でとお願い

される事があります。カレンダーにもよく記載されている「六曜(ろくよう)」。日の吉凶を六種に分類する暦(こよみ)の考え方です(①先勝②友引③先負④仏滅⑤大安⑥赤口)。

元々は中国を起源とする占いであり、それが日本風に作り替えられたものが、現在の「六曜」だそうです。仏教とは本来関係のない考え方だと思います。

「友引(ともびき)」は「友を引き連れていく」ことを連想し、葬儀などで避けられる傾向にあります。そもそも本来は「共引(ともびき)」だそう、「先勝」と「先負」の間で共に引くということから「勝負無し、引き分け」という意味だったようです。

また「仏滅(ぶつめつ)」も「仏を滅する様な大凶の日」ということで、お祝いの席などで、避けられる傾向にあります。こちらも元々は「物滅(ぶつめつ)」からきていて、仏教とは本来関係ありません。

より多くの方がご法縁に出会えることが何より大切だと思います。ご親族皆さんの予定が、その日が一番都合の良いということであれば、気になさらず「仏滅」や「友引」の日にご法事をご予約ください。

※ただし次の様な事情があり、結果的に常高寺も「友引」の日には葬儀が入りません。

愛媛県は「友引」の日に火葬場がお休み↓必然的に葬儀社もこの日は葬儀をしない↓結果、常高寺も「友引」の日には葬儀は入らない。

※以上は浄土真宗の一僧侶としての回答です。仏教はその時代その土地に合わせ様々な習俗を取り入れ、現在の形となりました。「六曜」に関しましても宗派によって様々な見解があると思います。本回答を一つの参考にしながら、皆が納得のいく形を検討していただければと思います。



バルーン・往職コラム第二回

仏さまの教えを次の世代にと西本願寺の取り組みの一つに、「子ども・若者ご縁作り」というスローガンがあります。その公開講座・研修会の講師ということで、備後地区の教務所からお声がけいただき、バルーン住職として出勤してきました。子ども会など、子どもとご縁作り

に熱心なお寺さんに対象にした、バルーンアート講座です。

若い世代のお寺離れは、どのお寺にも共通する重要な問題。

わずかでも一助になれたら嬉しいです。



行事
行報

秋の永代経法座 & 盆法座
えいたいきょう
ようこそそのお参りでした

←春永代経法座（4月）
明照寺住職 岡原弘和先生



←孟蘭盆会法座（7月）
専明寺住職 平山義文先生



一月のご正忌報恩講並
び三月の春彼岸のご法座
は中止。新年になりました
て初めてのご法座は春の
永代経法座となりました。
岡原先生が分かりやすく
時にユーモアを交えて、
お取次ぎくださいました。
盆法座は平山先生のご
縁。親しみ溢れる話しぶ
りで亡き人を偲ぶとはど
ういうことなのかをお話
しいただきました。
状況を見て今後もご法
座を開催したいと思いま
す。皆さまようこそのお
参りでございました。



ごうたんえ

降誕会・花祭りイベント開催 本堂が華やぎました

お釈迦さまの誕生日を祝う「花祭り」と親鸞聖人の誕生日を祝う「降誕会」。そのイベ
ント行事が無事終了しました。予想を上回る門徒内、門徒外からの子供さんのお参り。子
供がいると華やかで嬉しくなります。初参式（子供の初参り式）のお勤めに、お念珠授与、
短めのご法話、記念撮影という流れ。バルーン住職も出動しました。



おしらせ

今後の行事予定

【令和四年】

十月十九日(水)

秋季永代経法座 川上順之先生

十一月二十七日(日)

報恩講法座 当山住職

十二月三十一日(木)

除夜の鐘

【令和五年】

一月一日(金)

修正会

一月十四日(土) ～ 十五日(日)

ご正忌報恩講法座 北山祐章先生

三月十六日(木) ～ 十七日(金)

春季彼岸会法座 山本攝叡先生

四月二十四日(月) ～ 二十五日(火)

春季永代経法座 深水健司先生

※状況をみて、開催の可否に関しましては、都度ご連絡いたします。

きくそう君
を
探せ!

紙面のどこかに次のきく
ぞう君ときくひと君がい
るよ!



びっくりぞう!



めでたいぞう!



うれしいぞう!



はてな? だぞう

おしらせ

門徒会館完成に伴い、常高寺の施設利用に關しても若干の変更がございます。

①お寺の施設を利用した法事に關して

「本堂」と「門徒会館集会所」の二カ所にてご法事が可能となります。希望の会場がある場合は、ご予約の際にお伝えください。

②駐車場に關して

お寺の山門横に新たに8台分の駐車場が出来ました。元々所有していた駐車場を含めて24台分の駐車が可能です。

③飲食に關して

現時点では、簡単なお茶・お菓子を除き、基本的に飲食禁止です。コロナ禍の推移を見て、今後判断していきたいと思っております。

④お足の不自由な方に向けて

全面バリアフリーで車椅子での移動も可能です。多目的トイレもありますので、お足の悪い方、お子さん連れの方もぜひご利用ください。

編集後記

一年と半年に及ぶ工事の末、ついに門徒会館が完成しました。表に裏に未熟な住職を支え、また御懇志のご協力をしてくださいましたご門徒の皆様、本堂にも見劣らない立派で機能的な会館を建設してくださいました工事関係者の皆さま、関係各位協力してくださいました全ての皆さま、本当にありがとうございます。コロナ禍の状況を見てですが、落ち着きましたら、皆さまと一緒にお慶びの法要を執り行えたらと考えております。その際はぜひお参りください。今後共によりしくお願い申し上げます。

常高寺住職 加藤大地